

平成28年第4回平群町議会

臨時会会議録（第1号）

招 集 年 月 日	平成28年4月20日																																						
招 集 の 場 所	平群町議会議場																																						
開 会 （ 開 議 ）	4月20日午後2時5分宣告（第1日）																																						
出 席 議 員	<table border="0"> <tr> <td>1 番 山 本 隆 史</td> <td>2 番 城 内 敏 之</td> </tr> <tr> <td>3 番 井 戸 太 郎</td> <td>4 番 森 田 勝</td> </tr> <tr> <td>5 番 稲 月 敏 子</td> <td>6 番 植 田 い ず み</td> </tr> <tr> <td>7 番 山 口 昌 亮</td> <td>8 番 山 田 仁 樹</td> </tr> <tr> <td>9 番 高 幣 幸 生</td> <td>1 0 番 窪 和 子</td> </tr> <tr> <td>1 1 番 下 中 一 郎</td> <td>1 2 番 馬 本 隆 夫</td> </tr> </table>	1 番 山 本 隆 史	2 番 城 内 敏 之	3 番 井 戸 太 郎	4 番 森 田 勝	5 番 稲 月 敏 子	6 番 植 田 い ず み	7 番 山 口 昌 亮	8 番 山 田 仁 樹	9 番 高 幣 幸 生	1 0 番 窪 和 子	1 1 番 下 中 一 郎	1 2 番 馬 本 隆 夫																										
1 番 山 本 隆 史	2 番 城 内 敏 之																																						
3 番 井 戸 太 郎	4 番 森 田 勝																																						
5 番 稲 月 敏 子	6 番 植 田 い ず み																																						
7 番 山 口 昌 亮	8 番 山 田 仁 樹																																						
9 番 高 幣 幸 生	1 0 番 窪 和 子																																						
1 1 番 下 中 一 郎	1 2 番 馬 本 隆 夫																																						
欠 席 議 員	な し																																						
<p>地方自治法第121条 第1項の規定により 説明のため出席 した者の職氏名</p>	<table border="0"> <tr> <td>町 長</td> <td>岩 崎 万 勉</td> </tr> <tr> <td>副 町 長</td> <td>中 島 伊 三 郎</td> </tr> <tr> <td>教 育 長</td> <td>岡 弘 明</td> </tr> <tr> <td>会 計 管 理 者</td> <td>瓜 生 浩 章</td> </tr> <tr> <td>理 事</td> <td>岡 田 守 男</td> </tr> <tr> <td>理事（政策推進課長）</td> <td>大 浦 孝 夫</td> </tr> <tr> <td>理事（総務防災課長）</td> <td>経 堂 裕 士</td> </tr> <tr> <td>理事（教育委員会総務課長）</td> <td>西 本 勉</td> </tr> <tr> <td>理事（上下水道課長）</td> <td>島 野 千 洋</td> </tr> <tr> <td>税 務 課 長</td> <td>西 脇 洋 貴</td> </tr> <tr> <td>住 民 生 活 課 長</td> <td>中 村 九 啓</td> </tr> <tr> <td>健 康 保 険 課 長</td> <td>辰 巳 育 弘</td> </tr> <tr> <td>福 祉 課 長</td> <td>今 田 良 弘</td> </tr> <tr> <td>観 光 産 業 課 長</td> <td>西 岡 勝 三</td> </tr> <tr> <td>都 市 建 設 課 長</td> <td>寺 口 嘉 彦</td> </tr> <tr> <td>総 務 防 災 課 参 事</td> <td>橋 本 雅 至</td> </tr> <tr> <td>住 民 生 活 課 参 事</td> <td>森 田 弘 行</td> </tr> <tr> <td>都 市 建 設 課 参 事</td> <td>大 辻 孝 司</td> </tr> <tr> <td>教 育 委 員 会 総 務 課 参 事</td> <td>松 村 嘉 容</td> </tr> </table>	町 長	岩 崎 万 勉	副 町 長	中 島 伊 三 郎	教 育 長	岡 弘 明	会 計 管 理 者	瓜 生 浩 章	理 事	岡 田 守 男	理事（政策推進課長）	大 浦 孝 夫	理事（総務防災課長）	経 堂 裕 士	理事（教育委員会総務課長）	西 本 勉	理事（上下水道課長）	島 野 千 洋	税 務 課 長	西 脇 洋 貴	住 民 生 活 課 長	中 村 九 啓	健 康 保 険 課 長	辰 巳 育 弘	福 祉 課 長	今 田 良 弘	観 光 産 業 課 長	西 岡 勝 三	都 市 建 設 課 長	寺 口 嘉 彦	総 務 防 災 課 参 事	橋 本 雅 至	住 民 生 活 課 参 事	森 田 弘 行	都 市 建 設 課 参 事	大 辻 孝 司	教 育 委 員 会 総 務 課 参 事	松 村 嘉 容
町 長	岩 崎 万 勉																																						
副 町 長	中 島 伊 三 郎																																						
教 育 長	岡 弘 明																																						
会 計 管 理 者	瓜 生 浩 章																																						
理 事	岡 田 守 男																																						
理事（政策推進課長）	大 浦 孝 夫																																						
理事（総務防災課長）	経 堂 裕 士																																						
理事（教育委員会総務課長）	西 本 勉																																						
理事（上下水道課長）	島 野 千 洋																																						
税 務 課 長	西 脇 洋 貴																																						
住 民 生 活 課 長	中 村 九 啓																																						
健 康 保 険 課 長	辰 巳 育 弘																																						
福 祉 課 長	今 田 良 弘																																						
観 光 産 業 課 長	西 岡 勝 三																																						
都 市 建 設 課 長	寺 口 嘉 彦																																						
総 務 防 災 課 参 事	橋 本 雅 至																																						
住 民 生 活 課 参 事	森 田 弘 行																																						
都 市 建 設 課 参 事	大 辻 孝 司																																						
教 育 委 員 会 総 務 課 参 事	松 村 嘉 容																																						
本 会 議 に 職 務 の た め 出 席 し た 者 の 職 氏 名	<table border="0"> <tr> <td>議 会 事 務 局 長</td> <td>上 田 昌 弘</td> </tr> <tr> <td>主 幹</td> <td>高 橋 恭 世</td> </tr> <tr> <td>主 任</td> <td>竹 村 恵</td> </tr> </table>	議 会 事 務 局 長	上 田 昌 弘	主 幹	高 橋 恭 世	主 任	竹 村 恵																																
議 会 事 務 局 長	上 田 昌 弘																																						
主 幹	高 橋 恭 世																																						
主 任	竹 村 恵																																						
町 長 提 出 議 案 の 題 目	議案第30号 平成28年度平群町一般会計補正予算（第1号）について																																						

議 事 日 程	議長は、議事日程を別紙のとおり報告した。
会議録署名議員 の 氏 名	議長は、会議録署名議員に次の2名を指名した。 5 番 稲 月 敏 子      6 番 植 田 い ず み

平成 2 8 年 第 4 回 ( 4 月 )  
平群町議会臨時会議事日程 (第 1 号)

平成 2 8 年 4 月 2 0 日 (水)  
午後 2 時 開 議

- |       |   |
|-------|---|
| 日程第 1 | 会議録署名議員の指名について                              |
| 日程第 2 | 会期の決定について                                   |
| 日程第 3 | 議案第 3 0 号 平成 2 8 年度平群町一般会計補正予算 (第 1 号) について |

開 会 （午後 2 時 0 5 分）

○議 長

皆さん、こんにちは。

本日、政策推進課の巳波参事が本臨時会を欠席する旨、町長より報告を受けましたので、御報告をいたします。

ただいまの出席議員は12名で定足数に達しておりますので、これより平成28年平群町議会第4回臨時会を開会いたします。

町長、招集の御挨拶をお願いします。はい、町長。

○町 長

皆さん、こんにちは。4月14日から連続して発生しています熊本地震によりまして大きな被害が出ています。お亡くなりになられた方も多数いらっしゃいます。心から哀悼の意を表しますとともに、被害を受けられた皆様にお見舞いを申し上げます。本町といたしましては、月曜日に義援金募金箱を本庁舎ほか町内計6カ所の町有施設に設置し、支援を呼びかけております。今後、奈良県と連携して支援をしていきたいと考えております。

本日、平成28年第4回平群町議会臨時会の開会をお願いいたしましたところ、大変御多忙の中お集まりいただき、まことにありがとうございます。本議会では、平成28年度平群町一般会計補正予算（第1号）について御審議をいただくことになっております。慎重審議いただきまして、可決賜りますようお願い申し上げます、開会の御挨拶とさせていただきます。ありがとうございます。

○議 長

これより、本日の会議を開きます。

（ブー）

○議 長

本臨時会の議事日程はお手元に配付しております議事日程表のとおりであります。

本日の議事日程の朗読を求めます。局長。

○局 長

議事日程報告 議事日程表のとおり

○議 長

ただいまの報告どおり、日程表に従い議事を進めてまいります。

日程第1 会議録署名議員の指名を行います。

本臨時会の会議録署名議員には、会議規則第120条の規定により5番、稲月君、6番、植田君を指名いたします。本臨時会の会期中、よろしくお願いを

いたします。

日程第2 会期の決定についてを議題といたします。

お諮りいたします。

本臨時会の会期は本日1日と決定いたしたいと思いますが、異議ございませんか。

「異議なし」の声あり

○議長

異議なしと認めます。よって、本臨時会の会期は本日1日と決定いたしました。

続きまして

日程第3 議案第30号 平成28年度平群町一般会計補正予算（第1号）  
について

を議題といたします。

議案の朗読を省略し、提案者の提案理由の説明を求めます。政策推進課長。

○政策推進課長

議案第30号 提案理由説明

○議長

これより本案に対する質疑に入ります。はい、山口君。

○7番

今回ね、3月18日にもともとの新年度の一般会計当初予算が否決されて、28日の臨時議会で出された。その後、12日に骨格予算で今回ということになるんですが、基本になるのは28日に町のほうから出された新年度一般会計予算案で、12日のときよりの補正とを足した分がですね、本来なら当初予算として出てくる金額ですよ。総額で言うと、3月28日に出されたのは7億3,500万円。それがですね、今回、骨格予算と合わせると、総額は7億4,748万2,000円ですから、その差額6,248万2,000円が新たにというか、初めて今回追加されてるという金額になるわけですね。

今説明のあった臨時福祉給付金、もともと6月補正か5月の補正かわかりませんが、補正対応ということで3月議会のときも説明されてましたので、これについては5,664万1,000円、これはわかります。それと、その後のもう1枚資料がついてる地域少子化対策重点推進交付金事業2,748万3,000円、これも県の補助がとれたからということで、これもわかります。

じゃあ、それ以外、大した金額じゃありませんが、金額が動いてるんですよ

ね。そこについてね、もうちょっときちんと説明する必要があると思うんですが、そういう説明の仕方できるように準備はされてますか。

○議長

政策推進課長。

○政策推進課長

山口議員の御質問でございます。

今御質問の中でお述べいただきましたとおり、骨格予算でお出しをさせていただいた数字と1号補正の数字、約6,200万ほどの乖離がございます。詳細、ちょっと御説明を申し上げるところでございますが、まず今お述べいただきました臨時福祉給付金の費用並びに少子化対策事業につきましては、今回の補正で新たに上げさせていただいた補正でございます。そのあとの部分でございますが、今回の補正で新たにということでございます。

一つ、コミュニティバスの運行にかかります事業費ということで240万4,000円上げさせていただいております。それと、あと若干の差額ということで、駅周事業につきまして、当初骨格の予算と、実際に国のほうから内示が来た金額につきまして、内示額のほうが多かったということで、その増額分、金額で申し上げましたら100万円でございますが、その分を増額をいたしております。あわせて、再生可能エネルギーの各科目のほうで計上いたしております町内5カ所の設置でございますが、実際に骨格予算の時点でございますら、概算の設計ということでしたんですが、本日御提案申し上げてる金額につきましては実施設計レベルで金額を積算をいたしましたので、その分が約404万円増加になってございます。それで増加分が合わせまして約504万円の増加額となってございます。

逆に減額になった部分でございますが、当初骨格のままの予算のときに削除いたしました子育て支援センターの費用でございます。これは12日に27年度予算の補正でお出しをさせていただきまして、一旦そちらのほうで措置をいたしましたので、これは28年度の予算から減額のままとなっております。これが約450万でございます。それと増額分の内容と減額になった内容を合わせて相殺いたしましたら、差し引きの金額といたしまして、議員お述べになられた6,200万何がしの金額になるということでございます。

○議長

窪君。

○10番

ほとんどの事業につきましては、3月議会で御説明をいただいておりますので、今回新たに計上されました、今も2点おっしゃっておられましたが、その

ことについて簡単にちょっと御説明お願いしたいんですが、まず臨時福祉給付金事業と、また障害・遺族年金ですね、基礎年金の年金受給者への臨時福祉給付金ですが、その前に3月28日には平成27年度の補正で、臨時議会で65歳以上の皆さんの高齢者向け給付金ですね、対象者1人当たり3万円が予算化をされまして、申請は5月2日から8月1日までということで、申請手続きがいよいよ始まるので、該当の方には御案内をされるということをおっしゃっていただきましたけども、今回の臨時福祉給付金はまた消費税率の引き上げに際して低所得者の負担軽減を図るということで、1人、昨年は6,000円でしたが、今回3,000円の支給ということで、ここにも書かれておりますが、対象者、平群町で3,100名ということです。また、もう一つは、65歳以下の方の低所得の障害・遺族年金受給者の方ですね、その方はまた1人当たり3万円で、対象者1,200名ということでありましたが、これは言いました二つの給付金の申請時期はいつからかということをお尋ねしたいと思います。

○議長

福祉課長。

○福祉課長

申請時期でございますが、9月1日から申請を受け付けいたします。

○議長

窪君。

○10番

5月2日から8月1日までということで、ちょっと立て分けられてるのかなと思うんですが、今回のこの5月からの申請がスタートされるものにおきましては、ちょっと説明を見ておりましたら、対象が平成27年1月1日時点で平群町に住民票がある方ということですが、今回の二つは平成28年1月1日に住民票がある方という設定であります。私も住民の方から、引っ越してきて、今現在、平群町に住民票があるけれども、その点はどのようになるのかなというのをお尋ねをされておりますけれども、今平群町に住民票があっても、対象設定時が別住所であれば、前住所で申請手続きをすれば支給がされるということだと思いますけれども、そういうことが広報等には書かれておりませんので、わずかな人数かもわかりませんが、そういうことも丁寧な御説明が必要じゃないかと思うんですが、いかがでしょうか。

○議長

福祉課長。

○福祉課長

今おっしゃっていただいたとおり、28年1月1日以降の転入の方につきま

しては前住所ということでございます。この件につきましては広報、それから町ホームページで詳しく御案内していきたいというふうに考えております。

○議 長

窪君。

○10番

今の予算計上された分に関しましてはそういうふうにはやっていただきながら、今また平成27年1月1日の分も平群町のホームページにもアップされておりますけれども、その人たちにもかかわってきますので、その部分についてもまた追加の補足をお願いしておきたいと思っております。

それから、もう1点ですが、先ほども出ておりましたけれども、地域少子化対策重点推進交付金事業、これも前回と同様、こういう地方創生の観点から国のほうに手を挙げていただいて、全額補助ということで、財政厳しい平群町でありますけれども、本当に町の活性化のためにいろんな国の交付金、補助金を活用しようというその意気込みは本当に高く評価をさせていただきたいと思っております。274万3,000円ということですが、事業内容でもここで示されておりますが、3月20日開催されました「恋まち・育まち・へぐりっち」が大盛況に終えたとお聞きをしております。私も移動のプラネタリウムにも経験をさせていただきました。今までにない取り組みであると思っております。また、電車の中張り広告にもこのことが大変クローズアップされて、他市町の方々からも、いいことやるんですねということでお声もいただいております。また、町民の方々からも、若い独身の子どもさんをお持ちの保護者の方々からも、よい取り組みだと大変評価のお声を私はいただいているんですけども、今回の予算計上、これを継続していこうということで、平成27年度の恋愛・子育て宣言ですね、その取り組みを発展させるための全額補助金を獲得した、進展させるというものであると思っておりますが、そこで3月20日に行われました恋愛・子育て支援宣言フェスタの主な内容等と、それからここにも書かれておりますが、もう少し今年度の具体的な事業内容ですね、前回と同じような形のものをされるのか。ここでは講座とかカウンセリング等とありますが、もう少し具体的な御説明をお願いしたいと思っております。

○議 長

福祉課長。

○福祉課長

まず、ことしの3月20日に実施しました件について申し上げます。

西小学校の跡地で3月20日の9時から行いました。総参加人数としましては723人。内訳ですが、昼の部と夜の部に分かれております。昼の部という



のは子育て世帯の保護者、それからその子どもたちのふれあいの場を開催しております。主なものとしましては、特別講演として「幸せな子育て」、それから今議員からありました移動のプラネタリウム、それから運動場では移動動物園であったり風船飛ばし等々を行いました。昼間の参加人数は615名ございました。夜の部でございますが、適齢期を迎えた男女の恋愛スキルアップと出会いの場を実施いたしました。これにつきましては、夜のイベント前に男性のみ、女性と会話をしやすい対応トーク練習、希望者ですが、これを行っております。それから恋愛スキルアップイベントを行っております。内容としましては、自己紹介であったり、あと料理教室であったり、キャンプファイア、プラネタリウムの鑑賞等々ございました。参加人数でございますが、男性が22人、女性が20人、合計42人で、一応この催しでペアとなったのが10組と聞いております。その後、プロジェクションマッピングを行いました。このプロジェクションマッピング等の参加が108人ございました。参加合計が723人ということでございます。

次に、今年度の取り組みでございます。今年度の取り組みは、3月に行いましたイベントの結婚応援編といたしまして、若者の結婚に関する意識を高めるために実施をしていきます。内容は、町内農業者や商工業者の独身者を中心に参加を促し、恋愛に対する前向きな姿勢を醸成するため、異性への接し方や恋愛に関する考え方について講座やカウンセリングを行い、恋愛スキルアップを図っていきます。また、カウンセリング後に悩みや困り事についても講師からのアドバイスをいただく予定となっております。なお、この詳細につきましては、5月中に決定をしていきたいというふうに考えているところです。

○議長

窪君。

○10番

ありがとうございます。なかなか男女の出会いの場が最近減っておりますけれども、集まれた方の半分近くがペアになられた。今後はどうなるかわかりませんが、それは他市町村でもいろんな取り組みされてる中で、大変すごいことだなということは感じております。また、今年度もこの国の補助金を活用して地域におけるさまざまな出会いの場をつくっていくということで、本来、昔でありましたらそういうこともしなくてもいい時代でありましたが、今は本当に行政もみんな力を合わせてそういう出会いの場とか結婚、恋愛に向かっている取り組みもしていかなければならないと思いますので、大変御努力要ることだと思いますが、成果の出るような、前に向かっていけるような取り組みを今後ともよろしくお願いいたします。

以上です。

○議 長

山口君。

○7 番

さっきの説明で大体わかりますが、中身についてはね。基本的には歳出がふえたわけやね。歳入が減って歳出がふえてるから、上下どっちにしたって赤字というか、未確定財源がふえたということになるんですけれども、基本的にはさっきも言いましたが、3月28日の予算がベースになってるというのは間違いない。でね、せっかく何回も予算書をつくり直す機会があったわけですから、当然、新しいものを盛り込んだというのはさっきの説明で聞きましたけども、無駄をもうちょっと省く、どこに無駄があるねんと言われると私も困るんですが、予算書だけ見てたってなかなかわかりませんからね。その辺の努力っていうのはどのようにされたのかね、そこがさっきの説明では全く見えてこないんですよ。再生可能エネルギーにしても、それまでの概算からもう少し詳しい内容がわかって、その金額に変えたものにしたと。それとあと駅周にしても、国からの補助金が決まったからということなんですね。

じゃあ、ほかの、毎年ですね、決算をすれば2億、多いときは3億近くの不用額が出るっていうことを考えれば、医療費とか介護みたいに実際にやってみないとわからない部分は別にしてね、もうちょっときちっと精査できるんじゃないかというふうに私は素朴に疑問に思うんです。その辺についてはどのように財政当局のほうで検討してですね。これに反映されてないから、検討したけど、まだこれからということなのかわかりませんが、その辺はどうなのかというのはちょっとね、この際一回聞いておきたい。3回も予算つくったんだから、もう大変でそれどころじゃなかったっていうのも本音かもわかりませんが、その辺はどうですか。

○議 長

政策推進課長。

○政策推進課長

山口議員の御質問でございます。

ちょっと非常に難しいといえますか、お答えにくいところでございますが、ちょっと財政担当のほうの概念的な話になってしまうかわからないんですが、まず28日に予算書をつくらさせていただいた、その予算現額といたしまして73億5,500万円の予算でございました。31日に専決処分、12日に御承認を賜りました予算が59億5,000万円の予算でございます。

実際、骨格予算を組むということで必要事業を、いわゆる政策予算を抜いて

いったわけですが、正直申し上げまして、かなりやはり骨格とはいえ、平群町という自治体を一つ運営していくに当たっての費用というのがこれだけ要るのかなというのが正直なところでした。そういう面じゃ政策的な予算を反映する余地っていうのが余りなかったのかなというのがまず一つでございます。

それとあと、もう少し無駄を省くというところでございます。その中ではこの予算を編成するに当たりまして、10月から各課のほうに予算編成方針を示した上で精査をしながら、そこで一定のルールを決めて予算措置をしたわけでございます。そういった中で、各課のほうでも一定そういうふうな俗に言う無駄を省くというふうな、必要ないもの、不要なものについては計上していかないということで、それを一つの目標として措置をした金額がこれでございますので、結果といたしまして、ほぼほぼこれが平群町の今の現状の予算になるのかなというのをまず考えております。

それとあと、予算っていうのはあくまで予算でございますので、執行段階におきまして、一定適正な入札をしたりとか、また、価格についても一定調整したりとかいうふうな執行努力の部分について、今後しっかりと見ていかなあかんというふうには考えているところでございます。

○議 長

山口君。

○7 番

それで結構だと思うんですけど、とにかく単年度収支で言えば未確定財源が、今回ので見ると5億969万3,000円、繰越金も入れればもっとなるかもわかんないですけど、5億1,000万にもなってるわけですからね。去年も相当多かったですけれども、たまたま交付税が相当ふえたということで、その辺の反映で、まだ決算は出てませんが、単年度収支では黒字になるということでしたから、今年度、ことしはどうなるかというのはわかりませんが、今課長答弁されたように、やっぱりね、どう無駄を省くというか、効率よくやるかっていうのは課題になってくると思うんで、その辺はしっかり考えていただきたいなど。

私も今回、骨格予算を見て、政策予算、十数億しかない、へえ一つというね、改めて思いましたけれども、そういう意味ではいい勉強になったんですかね、どうなんですかねっていう気は、答えてもいいですけども。そのことはちょっとお願いしておきたいというふうに思います。

○議 長

森田君。

○ 4 番

以前お聞きしたかもわかりませんが、コミバスの推進事業費で消費税というお話、以前お聞きしてたと思うんですけど、かもわかりませんが、240万、これもう一度詳しく説明いただけませんか。

○ 議 長

総務防災課長。

○ 総務防災課長

コミバスの消費税でございますが、これはコミバス事業者においてですね、税務協議の中で消費税の対象事業ということで、本町といたしましても28年度から消費税を転嫁していくということの予算措置ということで御理解いただきたいと思います。

○ 議 長

森田君。

○ 4 番

そうすると、今まではどういうことになってるんですかね。税務署からそういうことの指摘を受けて、NCバスからそういう話が出るのか、今まで払うべきものを払ってないのか、その辺はどうなってるんでしょうか。

○ 議 長

総務防災課長。

○ 総務防災課長

契約の中ではですね、コミュニティバスの事業については消費税は入れていないということで、今まで契約をしておりました。

○ 議 長

森田君。

○ 4 番

そうじゃなくて、払うべきものを払ってなかったのか、その辺をお聞きしてるんですよ。契約があるんじゃないかって、物を買うときは必ず消費税を払わなアカンという国民の義務があるわけじゃないですか。それは事業者でも一緒だと思うんですけど、その辺のことをお聞きしてるんです。

○ 議 長

総務防災課長。

○ 総務防災課長

当然、委託事業者と我々のほう、いわゆる契約側のほうにつきましてはですね、お互い課税対象外ということで今までやってきたのが、税務協議の中で課税対象ということで申し入れもありましたので、そういうことで新たに今回補

正させていただいたということでございます。

○議 長

森田君。

○4 番

そうじゃなくて、私聞ってるのは、本来かけるべきものを、NCバスはかけてたんですか。NCバスは委託を受けてですね、その分について消費税は払っておられたんですか。経費の中で消費税分は自分とこで処理したのか、委託費の中で。

○議 長

総務防災課長。

○総務防災課長

事業者のほうからはですね、消費税はしてなかったということでございます。

○議 長

森田君。

○4 番

それはちょっとおかしいですね。本来払うべきものを払ってなかったということですかね。まあいいですわ。きっちり俗に言う税務否認にならないようにですね、これは平群町が税務否認されると非常に困るわけですから。

これは悪いんですが、総額の費用に対する消費税8%なんですか。

○議 長

総務防災課長。

○総務防災課長

契約額、いわゆる総額です。ただ、運賃収入は抜いておりますので、運賃収入を抜いた後の額に消費税8%をかけてるということでございます。

○議 長

森田君。

○4 番

そうすると、コミバス事業はですね、今以上に赤字が出るということですね、結果としては。この費用を払う、発生するということは、今まで以上に赤字が出る、赤字っていう表現よくないんですけど、住民サービスですから。そういうものと理解していいでしょうか。

○議 長

総務防災課長。

○総務防災課長

今回の消費税というのはあくまでも消費税でございますので、当然、総事業

費の中には消費税も含んできますので、議員お述べのとおりになるのかなというふうに思います。

○議 長

森田君。

○4 番

先ほどですね、山口議員からお話ありましたんですけども、やはりもう少し丁寧な資料が欲しいですね、説明も。あるところはですね、都市計画のマスタープランをつくるというのは300万、以前上がったと思うんですね。250万、今度なってますね。なってるんですかね。やっぱり、そういうことで頑張ってるところは、一生懸命やっているとこは50万のカットに向けて頑張っておられると思うんですけども、それはきっちりもう少し。私ちょっと間違ってるんですかね。きっちり説明をしてもらわないと困ると思うんですけども。片一方は一生懸命頑張ってる、不用額出すところは頑張ってるんですけども、当初予算のままでスライドしてるというのも何かおかしな話で。

先ほどのですね、もう一つ駅周の事業で100万ほど財源移譲いうんですか、国からの予算がという話なんですけども、これ見たら100万もないんじゃないですかね。国県の支出金を見ますと、そんなに100万もなく、知れてるんですが50万ぐらいじゃないかと思うんですけども、その辺のことをどのように理解したらいいのか。

○議 長

都市建設課参事。

○都市建設課参事

駅周の関係の御質問にお答えさせていただきます。

社会資本の整備総合交付金の都市再生の費用なんですけれども、内示額が、当初要望しておりました3億4,500万、歳出で要望させていただいておりました。その2分の1が国庫補助という形になりまして、当初予算では1億7,250万の予算計上を歳入としてさせていただいておりました。その金額が50万、国のほうから内示がアップ、四捨五入の関係で1億7,300万になりましたので、3億4,600万の補助対象事業として計上させていただいたというところがございます。補助金として50万アップ、全体としては100万アップというところがございます。

○議 長

森田君。

○4 番

今も窪議員からも話あったんですけど、少子化対策か恋まちのことなんです

けど、たまたま講師の本城さんと話す機会がございまして、出会いより離婚を防ぐことのほうが大事ですよと。離婚になると、本人も不幸になるしですね、お子さんがおられる方で離婚される方、単純なことらしいです、本城さんいわくですね。そういうことも意見として申し上げておきますので、そういう出会いも大事なんですけど、別れないようなことも大事だと思いますので、そういうことも勉強会でもやられて。ほとんどの方がカウンセリングを受ける、講演を受けると離婚しなくなるという本城さんの話でしたから、これは意見として申し上げときます。

○議 長

ほかに質疑ございませんか。

「なし」の声あり

○議 長

ないようでしたら、本案に対する質疑を終結します。

これより討論に入ります。山口君。

○7 番

一言だけ。

3月18日の3月定例会のとき、それから3月28日にも話をさせていただきましたけれども、基本的に今平群町の財政が大変になってるのは、この間の住民負担増、それから行政サービスの低下、それがやっぱり悪循環を生んでると、ここを変えていく必要があるっていうことで、28日の森田議員から出された修正案に対しては賛成しました。

今回、町のほうはですね、4月12日の臨時議会で学童保育料、ゼロにするというのが一番インパクトあるわけですがけれども、いずれにしても、これまでの路線からですね、逆に住民サービスをよくするという点で、特に平群町はここ30年以上前からですね、学童保育料については奈良県下でもトップを走ってきて、今もサービスの点では相当上を行ってますが、ただ、よそもやる中で、さらに平群町がインパクトあるものにしていくという点で、ゼロを目指すという、そういう思いは持ってますが、今回、町長の英断で一定下げられたと。金額にすれば全体で、きょうの予算書にもあるように120万円ちょっとですけども、ここについてはね、やっぱり評価したい。今後、やっぱりそういう流れにある。

私もきのう、おとといとですね、岡山県のほうに共産党の議員団で視察に行ったわけですが、主に子育て支援、定住政策でした。そこでやっぱり言われて

るのは、この間私たちが発言してきた、基本的には住民サービスをよくするというのも含めて、税収を上げていくっていうのはどことも基本だなというのは改めて思いました。今後また6月議会なり9月議会なりですね、研修の成果についてはさまざまな形でこの場で発言させていただくことになると思いますけれども、そういうことも申し上げて、今回については、これ以上難しいというか、先ほどの課長の答弁にもあった、事業を進める中で無駄も絞っていくということも期待してですね、この補正予算案には反対しない、賛成するというので一応一言述べて、賛成といたします。

○議長

高幣君。

○9番

私も賛成の立場でございます。その前に先に町長からも御挨拶で、熊本、大分の地震についての御冥福と、それから被害者へのお見舞いと、こう申されておりましたので、私自身も個人的にそういう気持ちがいっぱいでございます。

次に、また本町の皆さんにも、今回、平成28年度予算の成立の遅れから政策的な動きが遅くなり御迷惑をおかけしましたことを、これもおわびしなければならぬと私は思っています。これは議会と行政当局との課題調整や話し合いがちょっと不足してるんじゃないかなというふうに私勝手に考えております。町民の皆さんに御迷惑をおかけしたと、こういうことでございます。

さて、議案第30号 平成28年度平群町一般会計補正予算（第1号）については、4月12日の臨時議会で町長の専決予算の平成28年度平群町一般会計予算には私自身賛成でございましたので、この残る政策的な予算の本予算、補正予算ですね、これは当然であり、町民の皆さんのためにも一日でも早い補正予算を待っておりました。当然、町を考えなければならぬ問題でございますので、この議案第30号 一般会計補正予算案（第1号）に対して賛成の立場で討論をさせていただきます。

もともと、私自身は当初から平成28年度一般会計予算については賛成の立場でおりましたので、きょう遅きに失したっていう感じになっておりますが、これから町として喫緊に取り組まなきゃならない課題を十分理解されて、執務に邁進していただきたいと。今回の臨時議会における一般会計補正予算ですね、当然、町として町民の皆様に対していち早くやらなければならない行政課題、政策的な課題でありますので、私はやはりこれは賛成の立場で申し上げるべきだと思います。特に清掃センターの埋設灰のダイオキシン問題、平群駅前開発、これからの再生エネルギーの太陽光発電や、また人口減少時代の対策、それから定住化促進交付金、中学校のトイレ改修等、いろんな課題が積み上がってお



りましたので、早くせねばならないと、こんなふうに思っておりますので、この予算が通りましたら、早速、行政当局としてスタートしていただきたいと思っておりますので、賛成の立場で意見を述べさせていただきます。

○議長

馬本君。

○12番

今回、この補正予算には賛成をいたします。

この間の12日にいろいろお話も詳しいことをここで言ったわけでございますが、28年度は歳入不足5億円と言われる中で、住民にとっては防災並びに町長の政策、そして環境衛生の関係等々いろいろございます。非常に私は残念に思います。環境問題なんて特に一日も早く、地域住民には私は安心感を与えるべきであったなというふうに今思っております。しかし、今度、学童保育の関係で4,000円が3,000円、3,000円が2,000円と、2,000円が無料というふうに条例が12日に出てきて、一応可決はなりましたが、私は行政こそいち早く速やかなスピーディーな対応をすべき。これは住民にやっぱり心配事をかける、これは私は特に環境衛生の話ですわ。

それと、この間も言いましたけども、大きな事業が残ってるわけでございます、それは駅前でございます。これ15億2,000万、組合事業費で言いますと、繰越明許して2年間、28年度、29年度で執行せねばならないわけの事業でございます。内示来て、適化法第6条に基づく第1項ですね、本予算が成立しなければ、正式な交付金申請ができ得ないということに法律がなっておりますので、これについても遅れたというふうに私は思ってますよ。それは皆さん、個々の議員さんのお考えやと思いますけども。というのは、15億2,000万の金が2年間で執行できればいいけども、もしも執行できなくて不用額が出た場合、非常に平群町は混乱に導くと私は思います。財政上の問題で導くように私は想定してます。

それと、特に今熊本でいろいろ災害で、大分でいろいろ地震で災害に遭われたこと、14日の連日ニュースで多々あります。平群町も今回の予算については、橋梁の調査並びに橋梁の工事等々の予算も入ってるわけでございます。まして、特に歩行者の安全を期すための一定の路線の部分も予算に入っております。そういう点を鑑みますと、私は4月1日、常に予算というのは執行するのが本意であるというふうに思います。

今後、いろいろ町長もお考えになるとは思いますけども、行政マンの方につきましては、12日、また先月の28日、この12日、ましてきょうといろいろ、いろんな部分において行政マンに予算、補正予算、骨格予算にいろいろ御努力

をしていただいたことについて、私は感謝と敬意を表したいと思います。あとは一日も早く交付申請並びに行政を執行していただくことを祈念いたしまして、町長、この補正予算には賛成をいたします。

○議長

ほかに討論ございませんか。

「なし」の声あり

○議長

ないようでしたら、本案に対する討論を終結します。

これより議案第30号について採決を行います。

本案については原案どおり可決することにいたしたいと思いますが、異議ございませんか。

「異議なし」の声あり

○議長

異議なしと認めます。よって、本案については原案どおり可決することに決定しました。

以上で本臨時会に付議された件について全部終了いたしましたので、これをもって会議を閉じます。

町長、閉会に当たり、御挨拶をお願いします。町長。

○町長

平成28年度平群町一般会計補正予算につきましては、全会一致で可決賜りまして本当にありがとうございます。これで平成28年度は、やっとスタートできるわけでございます。町職員一丸となって取り組んでまいりますので、今後ともよろしく御指導、御鞭撻いただきますようお願い申し上げまして、閉会の御挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

○議長

これをもって平成28年平群町議会第4回臨時会を閉会いたします。  
御苦労さんでした。

(ブー)

閉 会 (午後 3時08分)